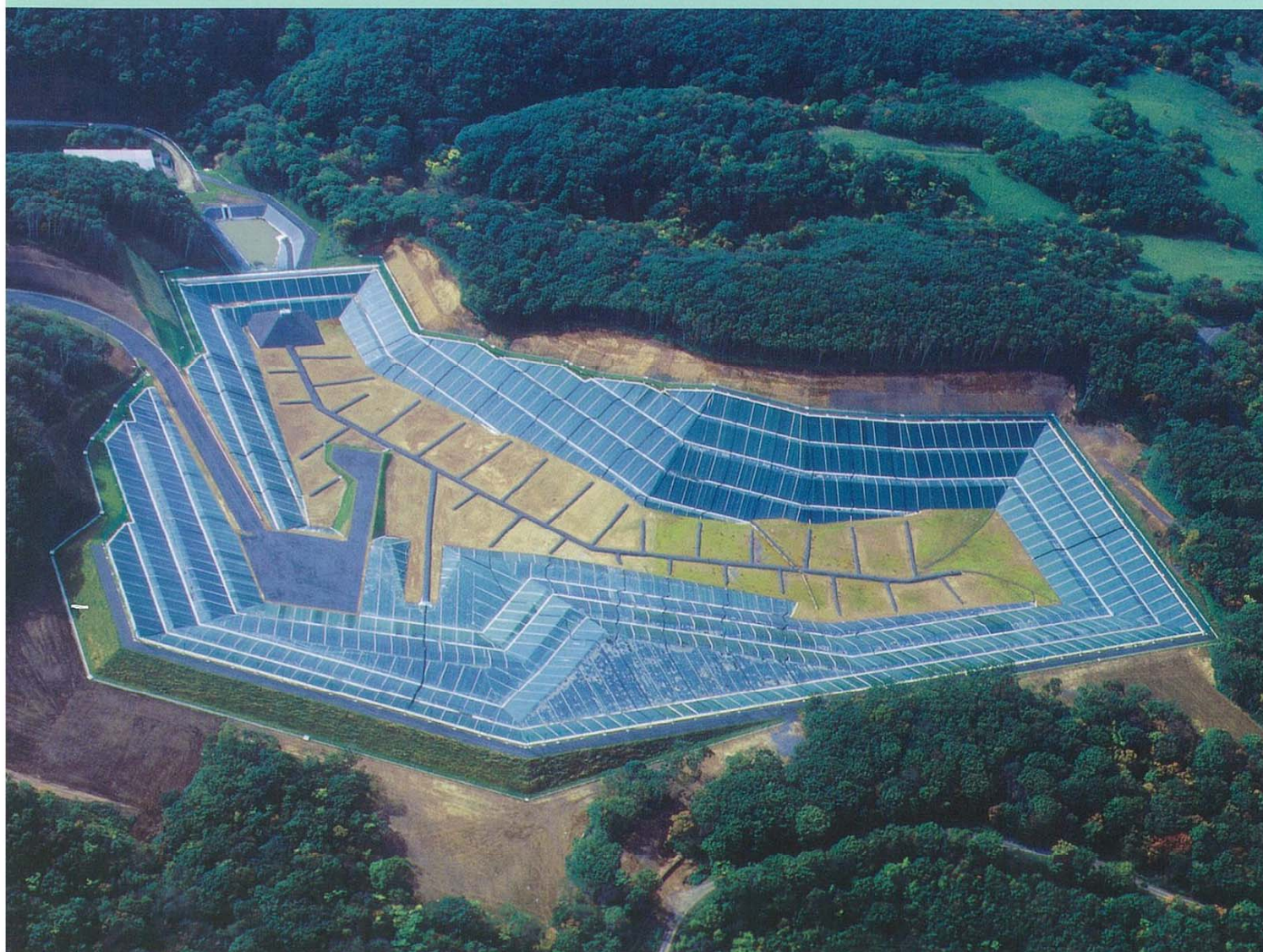


釧路市ごみ最終処分場



ごあいさつ

人や地球にやさしい釧路を目指し、ごみの適正処理を進めます。

現代社会に暮らす私たちは、豊かで快適な生活を享受する一方で、大量の廃棄物を生み出し、不要物として捨てられる大量の資源や、ごみ処理に伴う環境負荷の増大が問題となっています。

美しい自然環境を守り、住民が健康で快適な生活を営むうえで、ごみを衛生的かつ適正に処理することは行政の大きな責務のひとつとなっており、釧路市は、豊かで美しい自然環境を次世代の子供たちに残していくため、ごみ減量化やリサイクルに取り組んでいるほか、環境負荷の少ないごみ処理施設の整備を進め、資源循環型社会の実現を目指しています。

釧路市ごみ最終処分場は、そんな思いを込めて建設された、新しいごみ処理施設です。

この施設の完成によって、将来にわたって安定かつ安全なごみの最終処分が可能となり、ごみの適正処理に向けた取り組みが一步前進します。

釧路市は今後とも、自然と共生する魅力とうるおいのあるまちづくりを、市民の皆さんとともに推進してまいります。



■施設の概要

名称：釧路市ごみ最終処分場
所在地：釧路市高山17-1及び29-1

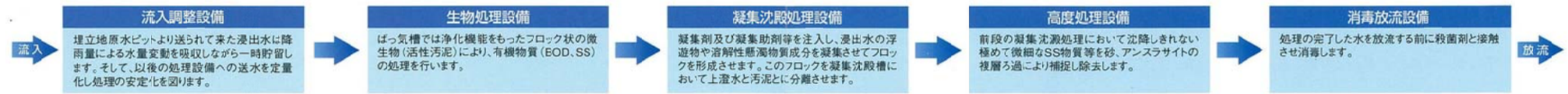
工期：着工／平成11年9月
竣工／平成14年3月

総事業費：2,182,728千円



浸出水処理施設

埋立処分場からの浸出水を安全かつ、衛生的に処理し環境を守ります。



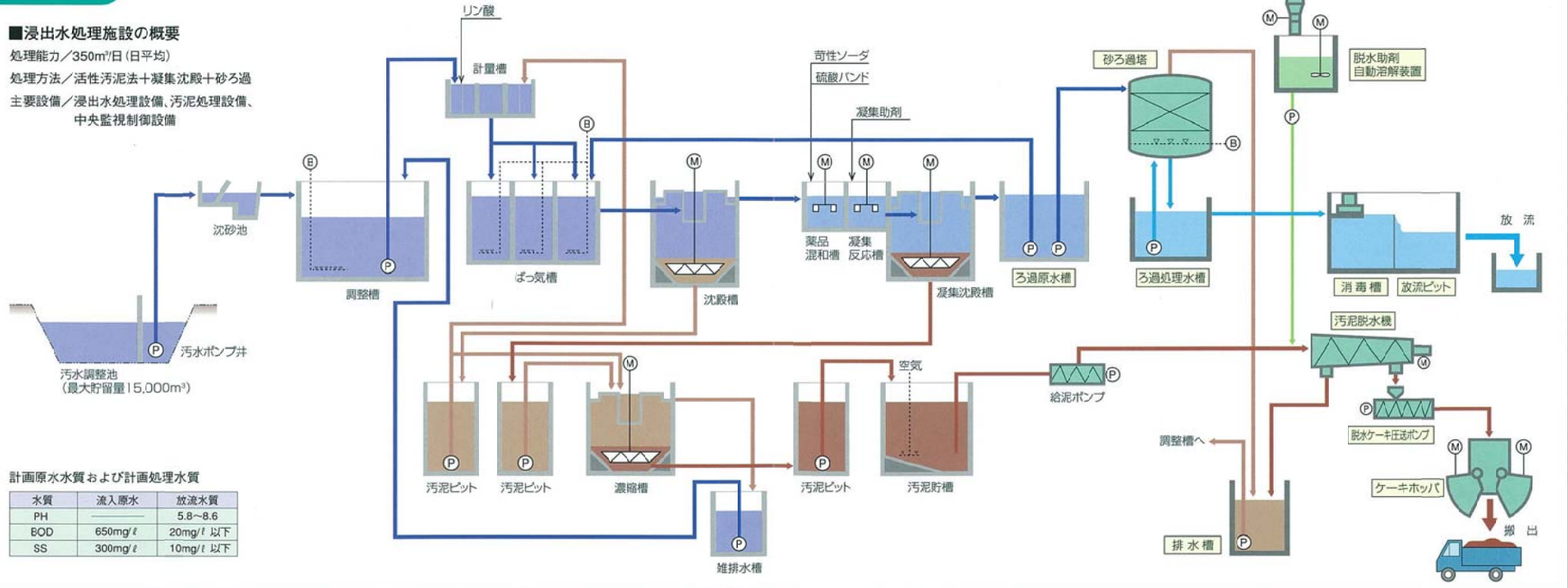
フローシート

■浸出水処理施設の概要

処理能力/350m³/日(日平均)

処理方法/活性汚泥法+凝集沈殿+砂ろ過

主要設備/浸出水処理設備、汚泥処理設備、中央監視制御設備

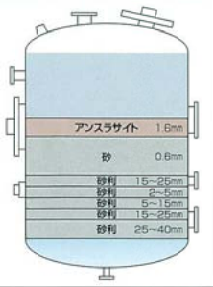


ばっ気槽
浄化機能をもったフロック状の微生物（活性汚泥）により、有機物質（BOD、SS）の処理を行います。



砂ろ過塔

固定床式圧力ろ過方式
鋼板製圧力容器内部にろ材（砂、アンスラサイト）を充填し、圧力水を過水することで処理量を大きくとることができます。ろ材はろ過原水中の浮遊物を捕集し、目詰まりを起こすため自動的に空気洗浄及び水洗浄を行います。



脱水機
浸出水処理の過程で発生する汚泥をベルトの圧力によって脱水し、脱水ケーキとされます。



ケーキホッパ
脱水ケーキは一時、ホッパにて貯留され、トラックの圧力によって搬出されます。



中央制御室
監視盤により処理システム全体の運転状況を制御・監視する設備です。

準好気性埋立で埋立対象物の早期安定化を図ります。

「釧路市ごみ最終処分場」は、釧路市高山地区の沢地に建設された、山間層状準好気性埋立のごみ最終処分場で、埋立容量は844,000立方メートルあり、15年間の埋立期間を予定しています。

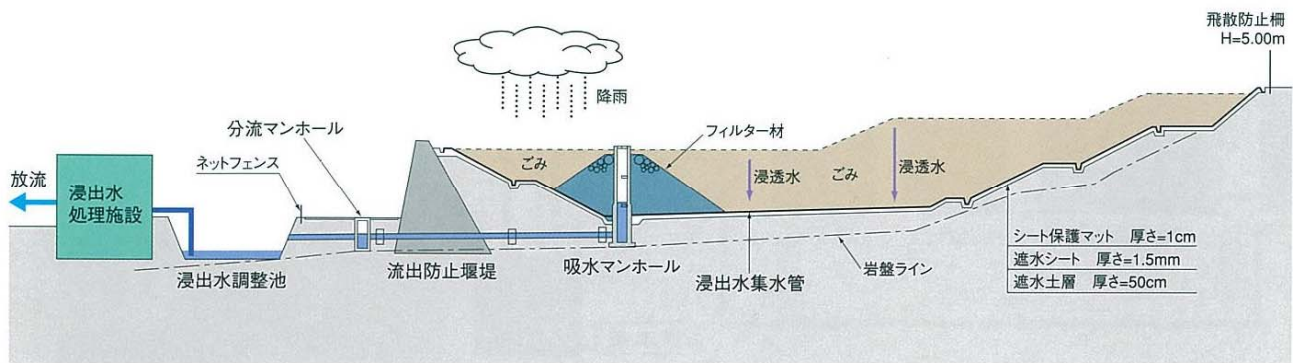
新処分場は、平成10年に改正された「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める命令」に準拠して建設され、地下水の汚染を防ぐ遮水構造の強化が図られています。

また、将来、可燃ごみの焼却処理によって焼却灰の埋立が行われることを想定し、既設水処理施設の機械更新や砂ろ過塔の増設を行い、高度な水処理によって放流水質の改善を図っています。

■埋立処分地の主な施設

- | | | | |
|---------|--|----------|---------------|
| ●流出防止施設 | 重力式コンクリートダム 高さ14.5m 長さ88m | ●保有水集水施設 | 吸水マンホール、集水管 |
| ●しゃ水施設 | 上層:高密度ポリエチレン製遮水シート t=1.5mm
下層:遮水土層50cm (透水係数 1×10^{-6} 以下)
保護マット:t=10mm (表面ラミネート加工) | ●雨水集水施設 | U型トラフ、雨水調整池 |
| | | ●飛散防止施設 | 高さ5m、長さ1,000m |
| | | ●搬入道路施設 | 長さ300m、幅6~8m |

■ごみ埋立方式模式図



■遮水システム

埋立地内の浸出水が地下に浸透し、地下水を汚染することがないように遮水シートと遮水土層で廃棄物を完全に遮断しています。

